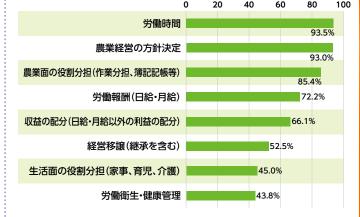
## 家族農業での女性参画と活躍

国連は2019~2028年を「家族農業の10年」と定め、家族農業を 地域農業の担い手として重視しています。この背景には、家族農業 の支援が女性の労働改善や男女平等、農村での女性のリーダーシッ プ促進に役立つとの考えがあります。

家族農業経営には、家族組織ならではの利点が数多く存在する一 方で、経営活動と生活領域の区分が不明瞭になりやすく、女性の農 業労働が家事労働とともに無報酬労働となったり、家族経営での位 置づけが曖昧になりがちでした。このような状況を改善するために、 農林水産省は、1995(平成7)年に経営の方針や家族一人ひとりの役 割、就業条件などを話し合って取り決める「家族経営協定」を普及推 進することとしました。この協定を結ぶことで、家事・育児での役割分 担や経営への参加が明確になり、女性たちが研修等にも気がねなく 参加してスキルアップを図るなどの効果が期待されます。それ以降、 国、地方公共団体、農業協同組合等の関係機関等が連携しながら、協 定の締結が全国で進められています。

第5次男女共同参画基本計画では2025(令和7)年度までに締結数 7万件を目標としていますが、2024(令和6)年3月時点で締結農家は 6万件、主業経営体\*に占める割合は33.6%となっています。女性の 農業経営参画と住みやすい農村づくりは農業・農村の発展に重要で す。この認識を関係者で共有し、協定の重要性を引き続き周知する 必要があります。

家族経営協定の取決め内容(複数回答) 2023(令和5)年度



出典:農林水産省「令和6年農業構造動態調査」「家族経営協定に関する実態調査

国連総会は昨年、2026年を「女性 農業従事者の国際年」と決定しまし た。これにより、農業における女性の 参画と活躍は、国内外でますます重 要視されることが見込まれます。



\*主業経営体……主業経営体とは、農業所得が主(世帯所得の50%以上が農業所得)で、調査期日前1年間に自営農業に60日以上従事している65歳未満の世帯員が



相談コラム

垣谷 美雨 著 (2019年)



に気づくかもしれません。

派遣切りに遭い、恋人に一方的に別れを切り 出され、仕事も家も恋人も失った久美子は、 たまたま目にしたテレビの『農業女子特集』 に運命を感じ、農業で生きていくことを決意 する。早速、田舎に引っ越し、農業大学校へ 入学。自由で明るい農村ライフが待っている

いただくことも多いです。仕事や生活、家族関係 ます。自分の本心に気づくことで、これまで

や人間関係のなかで言葉にならない違和感をよりも自然体で、あるいは主体的に現実と

抱えているのであれば、そこにはあなたの重要 : 関わっていけるようになるかもしれません。

なお気持ちが隠れているのかもしれません。電話 : 相談員一同、みなさまがご自身の本心を大切

いき、自分がどんなことに行き詰まりを感じて、だきたいと思っております。

と思っていたが、現実はそんなに甘くはなかった。

女性には無理? 農業がやりたいなら農家に嫁げ? 独身女性への偏見 と、新規就農者への強い風当たり。なかなか農地も貸してもらえず、 久美子は苦戦する。でも、人と話し、繋がることで、少しずつこの困難な 状況を切りひらいていく。

新規就農の障壁や農家の現実、そして様々な女性の生き方が描かれ ている小説です。農業に興味がある人だけでなく、生き方に迷った時や 自分を見つめ直したい時に、ぜひ手に取ってもらいたい一冊です。

※ 上記の本は、With You さいたま 情報ライブラリーにて、貸出しをしています

With You さいたまの電話相談は、「自分は

## 啓発パネル「DV(ドメスティック・バイオレンス)」を 貸し出しています!

DV(ドメスティック・バイオレンス)とは、配偶者や恋人など親密 な関係にある(あった)者から振るわれる暴力です。

DVとはどういうことか、どんな問題があるのかなどについて、イラ ストやグラフを使って分かりやすく説明しています。(A2判、10枚)





With You さいたまでは、男女共同参画、DV防止、防災など様々なテー マの啓発パネルを無料で貸出しています。市町村、自治体、男女共同 参画社会の推進に向けて活動している団体などの啓発活動にぜひ

※ 詳しくは、With You さいたまホームページをご覧ください。 https://www.pref.saitama.lg.jp/withyou/ support/panel/index.html

### いて、根本的な原因は何だったのかということ くう With You さいたま電話相談

さまざまな悩み相談 048-600-3800 電話相談では、相談員がじっくりと話を聴く ことで、そのような「気づき」のプロセスを DVに関する相談 048-600-3700 本当はどうしたいのか」を問い直す場としてご利用・大切にし、一緒に考えていきたいと思ってい

時間 月~水、金、土曜 9:30~20:30 日曜、祝・休日 9:30~17:00 (木曜日・年末年始を除く)

24時間受付

相談で話しているうちに、徐々に言葉になって にしていただくためのお手伝いをさせていた https://www.pref.saitama.lg.jp/ withyou/counsel/guide.html



## With You さいたま広報紙 vol.78

\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*

イベントカレンダー 2025年 11月 → 2026年 2月

※ 詳細はWith You さいたまホームページをご覧ください。

2025年11月20日命 DV防止フォーラム2025 at 埼玉会館

『DVが与えるこどもへの影響』~家庭で何が起こっているのか~ ▶講師: **杉山 春** さん(ルポライター)



県内で男女共同参画に取り組む団体が集まり、日頃の活動を発表します。

2月8日 @ With You さいたまフェスティバル講演会

『なぜ働いていると本が読めなくなるのか』 ~著者と考える「半身」の生き方、働き方~

▶講師: 三宅 香帆 さん(文芸評論家・京都市立芸術大学非常勤講師)



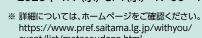
## 女性と女の子の 「あばた一相談&あばた一広場

With You さいたまでは、県が運営するメタバース空間を利用 して、様々な悩みを抱える女性を対象とした「あばた一相談(個別 相談)」、「あばた一広場(交流会)」を実施しています。 顔を見せるのはイヤ。でも、誰かと話がしたい。

こんな時あばた一になって相談してみませんか? ● あばた一相談(個別相談)

2025年 12/17(水)・2026年 2/18(水) 10:00~12:00

あばた一広場(交流会) 2026年 1/7(水)・3/4(水) 17:00~19:00







# 相談会を行います。 ● 1月14日(水) 越谷市内

問題の解決・緩和となるための情報を提供するセミナー と悩みや不安を共有し語り合う機会・場を提供するグループ

●12月3日(水) 熊谷市内 テーマ:「女だから」と思い込んでいませんか?

2月1日(日) 志木市内 テーマ:その怒り、悪いこと?

※ 詳細についてはホームページをご覧ください。

## **パープルリボン・** タペストリーが 県内巡回中 ■巛回期間

2025年6月28日~

2026年3月13日

「パープルリボン」は、女性に対する暴力のない世界を 望む気持ちを表す運動のシンボルとして、世界中に 広がっています。

テーマ:わたしにできる仕事ってある?

埼玉県では、県民の皆さんにパープルリボンを作成して いただき、大きなタペストリー(壁掛け)を完成させる キャンペーンを実施しています。

今年度は、36の市町がキャンペーンに参加しています。 タペストリーを見かけたら、ぜひご参加ください。

## With You さいたま 埼玉県男女共同参画推進センター

〒330-0081 さいたま市中央区新都心2-2 TEL 048-601-3111

FAX **048-600-3802** 

https://www.pref.saitama.lg.jp/withyou/

## 月曜~土曜/9:30~21:00 日曜・祝日/9:30~17:30

休 館 日/第3木曜日、年末年始 ▲携帯サイト

午前/ 9:30~12:00 午後/13:00~17:00 夜 間/18:00~21:00



※ 利用時間には、準備及び後片づけの時間も含みます。

## With You さいたま電話相談

悩み相談 TEL **048-600-3800** DV相談 TEL 048-600-3700

相談時間 月~水、金、土曜/9:30~20:30 日曜、祝・休日/9:30~17:00 (木曜日、年末年始を除く)

## 埼玉県女性キャリアセンター

電話相談 TEL 048-601-1023

相談時間 月曜~金曜/10:00~11:30 12:30~16:30 (祝日、第3木曜日、年末年始を除く)

面談相談予約 TEL 048-601-5810

受付時間 月曜~土曜/ 9:30~17:30 (祝日、第3木曜日、年末年始を除く)

☆ ハローワーク求人情報の提供

| 求人情報の検索 | 月曜~土曜/ 9:30~17:30 | 求人情報の紹介 | 月曜~土曜/10:00~17:00

## 休館日等のお知らせ

●年末年始の休館日 12月29日(月)~1月3日(土)

●情報ライブラリーの閉室 12月15日(月)~12月20日(土)



ホテルブリランテ武蔵野3・4F



With You さいたま vol.78 2025年11月発行

# 埼玉県男女共同参画推進センター With You さいたま広報紙

2025



のための総合拠点施設です。

「With You さいたま」は、埼玉県の男女共同参画社会づく

# 

女性は農業の重要な担い手ですが、基幹的農業従事者\*1 に女性が占める割合は、2010(平成22)年44.0%から 2024(令和6)年38.7%になっており、5.3ポイント低下して います(図1)。女性が職業として農業を選択し、活躍できる

ような環境づくりが求められています。 \*1基幹的農業従事者……

農業就業人口のうち、普段の仕事として主に自営農業に従事している者

2023(令和5)年における新規就農者数は、男性 30,780人に対して女性は12,680人となっており、全体の 29.2%にとどまっています。(図2)



[2015年農林業センサス] (組替集計)、「2010年世界農林業センサス」 (組替集計)

図3 男女別新規就農の理由

出典:農林水産省 「令和5年新規就農者調査」 ラウンドの関係で計と内訳は

新規就農者を対象にした調査(図3)によると、就農の を重視していることがわかります。

出典:農林水産省「令和元年度 食料・農業・農村白書」 特集2 輝きを増す女性農業者(2020(令和2)年) 一般社団法人全国農業会議所新規就農センター「新規就農者の就農実態に関する調査結果」

農にあたり直面した悩み

法などに悩みを感じている様子が伺えます。

女性割合	女性(人)	男性(人)
29.2%	12,680	30,780

家族で一緒に仕事ができるから

自ら経営の采配を振れるから

子供を育てるには環境が良いから

食べ物の品質や安全性に興味があったから

図4 男女別新規就農者の悩み(生活面)

健康上の不安(労働がきつい)

思うように休暇がとれない

農業はやり方次第でもうかるから

## 女性新規就農者の就農理由

動機として「農業が好きだから」という理由に性別で差は ありませんが、異なっている回答もあります。男性は「農業は やり方次第でもうかるから」「自ら経営の采配を振れるか ら」が上位になっているのに対し、女性の場合は、「家族で 一緒に仕事ができるから」「子供を育てるには環境が良い から」という家族やこどもの要素が男性に比べて高く、また 「食べ物の品質や安全性に興味があったから」と回答する 割合が高い点も特徴的です。女性が農業を仕事として 選択する際に、家庭や子育ての充実や食の安全性など

(平成29(2017)年3月公表)を基に農林水産省作成

調査(図4,5)によると、就農にあたり直面した悩みとし

て、女性は生活面では「健康上の不安(労働がきつい)」

「子供の教育」、と回答した割合が男性よりも高くなってい

ます。経営面では「技術の未熟さ」「栽培計画・段取りがう

まくいかない」と回答した割合が高く、技術習得や経営手

出典:農林水産省「令和元年度 食料・農業・農村白書」 特集2 輝きを増す女性農業者(2020(令和2)年)

一般社団法人全国農業会議所新規就農センター「新規就農者の就農実能に関する調査結果」

## 図2 新規就農者に占める女性の割合 2023(令和5)年

農業が好きだから

一致しない場合がある

12%

11% 6%

10%

**17%** 

**9**% **4**%

## として「農業法人で働きたい」「小規模農業をやりたい」と する割合が男性よりも高いことがわかりました。

ジェンダー格差の実態把握

新規農業者の育成・確保に力を注いでいます。

調 査 手 法:就農相談時の相談カード分析 調査対象者: 2004(平成16)年から2022(令和4)年までの就農相談者 (4768人)

だと思って参加しづらかった」と感じていたり、就農動機

## □就農相談者 男性

87%

			2317	スエ
	女性	本格的に農業経営を行いたい	80%	61%
)	13%	農業法人で働きたい	8%	23%
		小規模農業をやりたい	9%	17%
		有機農業をしたい	5%	8%
		田舎暮らしをしたい	4%	4%
		農業体験をしたい	2%	4%

次に、既に就農されている女性農業者にヒアリングを したところ、「女性が農業を行うには近くにトイレや更衣 室が必要|「女性の農業者に教えてもらいたい」といった 声がありました。そこで、2024(令和6)年度の取組に は、女性を対象にして就農のPRに努めるとともに、農業 法人が「女性が働きやすい環境整備」を行う際に補助す るなどの支援などを行うことにしました。

### 多様な担い手確保PR事業 |農業支援課の取組

埼玉県における農業分野のジェンダー主流化

埼玉県では、ジェンダー主流化\*2を県の施策に反映させ、埋もれていた男

女各々のニーズを取り入れた取組を進め、誰もが暮らしやすい社会づくり を目指しています。その一環として、昨年度から女性の農業活躍推進、特に

\*2……「ジェンダー主流化」とは、あらゆる施策において、固定的性別役割分担、性差別、偏見

等が社会的に作られたものであることを意識する視点を取り入れることで、一つの施策が結

果として男女間で格差をもたらしていないかを点検し、施策効果の向上を図る取組です。

農業を職業の1つとして検討している女性等に対し、 埼玉県における女性の新規就農者の割合は25.6% (2018(平成30)~2022(令和4)年)と全国の29.2% 埼玉県を就農先としていただけるようPRする事業です。 (2023(令和5)年)よりも低い状況にあります。県では、 2024(令和6)年度は、県内で活躍する先輩女性農業 女性の新規就農者割合を増やす取組を進めるため、ま 者を講師とするセミナーを3回(2回は都内開催)、女性 ず、女性からの就農相談内容の分析を実施しました。そ の結果、就農を考える女性は、「就農相談会は男性ばかり

農業者のPR動画及びインタ ビュー記事を掲載したWeb を活用しての情報発信など を行いました。



## 女性の雇用就農促進事業

女性の進出が遅れている主穀(米や小麦など)、露地野 菜、果樹を経営する農業法人において、衛生環境施設等の 設置や女性従業員が使用する機械・備品の購入等、女性が 働きやすい環境を整備するための費用を補助します。

2024(令和6)年度は、県内の2つの農業法人におい て、トイレの設置などに対して補助し、女性の雇用環境の 整備を支援いたしました。

## 農業支援課 | 農業をはじめたい方への支援

https://www.pref.saitama.lg.jp/a0903/syunou/ shuunousiensemina3shuusei.html

埼玉県では、女性の皆様に本県での就農に関心を持っ ていただくための取組を展開するとともに、就農を希望 される方に対する情報提供や相談を入口とする就農ま でのきめ細かい支援を実施し、引き続き女性の就農を推 進してまいります。

### **7**% **8**% 集落の人等との人間関係 7% 家族の理解・協力面 注1)就農してからおおむね10年以内の新規就農者を対象に行ったアンケート調査(有効回答者数4,377人) 2)生活面で悩んでいることについての回答の上位3位までの合計を男女別全回答で除した割合

注1)就農してからおおむね10年以内の新規就農者を対象に行ったアンケート調査(有効回答者数4.377人)

別の調査(図6)によると、「自身がリフレッシュする時間が とれない」「妊娠中に仕事を休めない」「子供が病気のとき に預かってもらえる人や場所がない」といった不安や悩み があることが分かりました。

## 図6 農業と出産・育児・子育てとの両立に関する不安や悩み(複数回答)上位5回答

自身がリフレッシュする時間がとれない	59.7%
妊娠中に仕事を休めない	43.3%
子供が病気のときに預かってもらえる人や場所がない	10.0%
近所に同年代の子供がいない	19.0%
母親同士の交流の場がない	17.9%

出典:農林水産省 「2019年度女性活躍推進にかかるアンケート調査」 (2019(令和元)年8月調査) 注)全国の農業女子プロジェクトメンバー、4Hクラブ、一農ネット会員、農業担い手メルマガ会員、農業委員会、 JA女性組織、全国生活研究グループ及び全国指導農業士連絡協議会を対象に行ったアンケート調査

## 図5 男女別新規就農者の悩み(経営面) 技術の未熟さ 設備投資資金の不足 栽培計画・段取りがうまくいかない

注1)就農してからおおむね10年以内の新規就農者を対象に行ったアンケート調査(有効回答者数4.377人) 2)経営面で悩んでいることについての回答の上位3位までの合計を男女別全回答で除した割合

## 女性が活躍できる農業の実現に取り組む

女性が就農するパターンとしては、個人経営だけでなく、農 業法人等への就職も主要な選択となっています。一般的に農業 法人等では、育児・介護休暇等の就業条件が整備されている ことや未経験の女性でも農業技術を習得しやすいこと等がそ の要因と考えられます。今後、快適なトイレ等の施設整備など、 女性がより働きやすい環境づくりが求められます。

近年では、機械化も進み、新規就農の女性に使いやすい 機械等も増えています。技術面では、国や地方公共団体によ る各種研修や、地域単位での指導体制も拡充されています。 農業に携わる女性をさらに増やしていくために、女性が参入 しやすい労働環境の整備や支援策の充実など、多様な取組 が進められています。

# 女性就農者に インタビュー interview

サカール祥子さん 農業を通じてさまざまな人が活躍する場を作りたい 合同会社「十色」代表(さいたま市)

仲間3人とともに合同会社「十色」を起業し、農業体験の企画・運営や唐辛子・ かぼちゃ・小麦などの生産販売を行う。福祉分野との連携による農福連携の 経験を活かし、さいたま市「見沼田んぼ」の農地を活用しながら、障害の有無 や性別、国籍に関係なく、誰もが働きやすい環境づくりに取り組んでいる。

十色とうがらしファーム ホームページ https://toiro-farm.com/company/

合同会社「十色」 2024 (令和6) 年度農山漁村女性活躍表彰 「若手女性チャ レンジ部門」受賞。



## 唐辛子栽培への

就農にあたり、農地の確保には 苦労しました。最初は、この地域 で米作りをしていたNPOの人た ちから地元の農家さんを紹介して いただき、ようやく土地を借りる ことができました。地元農家さん との信頼関係を築くことが重要で あると感じています。

小規模ながらも需要のある唐辛 子に着目し、現在では約40種類の 唐辛子を無農薬・無化学肥料で栽 培しています。また、展示会での PR活動にも積極的に取り組み、唐 辛子の魅力を広く発信しています。



## 女性就農の課題と 支援の現状

当初は、さまざまな場面で、女性 の新規就農者に対する偏見を感じ ることがありました。しかし、現在 では行政の支援が進み、さらに農 業支援に関わる女性職員の増加 も相まって、相談しやすい環境が 整いつつあると実感しています。

「十色」では多様な人材をパート タイムで雇用していますが、特に 多いのは主婦層です。フルタイム で働くことが難しい子育て中の女 性にも、働く場を提供したいという 思いがあります。

一方で、子育て中の女性が早朝 出勤することの難しさや、今年の ような酷暑による熱中症のリスク など、さまざまな課題もあります。 トイレの設置や子育て世代が働き やすい環境整備など、女性が安心 して働ける環境づくりが、今後の 課題として残っています。

## 女性農業者としての 活躍と今後

事業を成功させるためには、経 営的な視点が欠かせません。作物 を育てる技術だけでなく、経営ス キルの研修や専門家との連携を 支援する仕組みが、さらに充実 することを期待しています。

また、これからの農業者には、 他分野や企業との交流を積極的 に行い、新たなアイデアを生み出 す場に参加することが求められる と感じています。こうした取組が、 事業の発展につながるのではない でしょうか。

これからも様々な人が農業に つながる機会を作り、「誰もがそ れぞれの立場で活躍できる農業」 を実践していきたいと思います。



3